



かしこく
やさしく
たくましく

【学校教育目標】 確かな学力と思いやりの気持ちをもった、心身ともにたくましい子供を育てる

自己肯定感を育む

校長 大園 清子

9月1日に2学期が始まりました。全校児童666人でのスタートです。当日の朝、防犯ボランティア、自治会長さんとともに、民生委員の皆様が校門であいさつ運動をしてくださいました。地域に見守られている子供たちは、幸せだと思います。ありがとうございます。



さて、裏面に4月に実施した全国学力学習状況調査の結果を掲載しています。児童質問紙の中で「自分には良い所があると思いますか。」という質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童が全国・県の平均よりも低かったことがとても気になりました。自己肯定感の中でも自尊感情が低いことがうかがえます。自尊感情とは、「生まれてきてよかった」「自分にはできることがある」等、自分自身をかけがえのない価値ある存在とする感情で、例えるなら、木の根っ子のような、人間が生きていく上での土台となるものです。自尊感情が育まれていると、失敗しても自分の力で立ち直ろうとする力につながりますし、自分のことだけでなく、周りにいる人の良さや違いを認めることができ、相手を尊重する態度や行動につながるとも言われています。さらに、自己肯定感は、本調査の正答率にも相関があることから、学力を向上させるために重要な要素だとも言えます。

本校の子供たちは、素直で優しいのですが、失敗を恐れてしまうのか消極的な部分も多く見られます。自尊感情を育むためには、子供たち一人一人に自信をもたせることが大事です。今後も毎日の教育活動において様々な機会を通して子供たちの頑張りをほめ、認めていくよう取り組んでまいります。特に2学期は、秋季大運動会を始め多くの学校行事が計画されています。それぞれの行事において活躍の場を準備したり、本人の頑張りを価値づけたりしていきたいと考えています。御家庭でも、学習面、運動面、お手伝い等を通して、子供たちの頑張りを認め励ます機会、困難を乗り越えたら、そのことを認め価値づける声かけ、結果だけでなく、過程もほめる等の機会を増やしていただければと思います。2学期もどうぞよろしくお願いたします。

運動会練習、がんばっています！

今年の運動会も午前開催で計画しているところです。子どもたちは、保護者の方々にいいところを見てもらおうと、元気いっぱい練習に取り組んでいます。それぞれの学年の見どころは…。コロナ禍の中でも、精いっぱい頑張る子供たちの姿をお見せできると思いますのでどうぞお楽しみに。



1年生の練習の様子

運動会を実施するにあたって、お願いのプリントが配布してあります。参加は保護者2名まで(未就学児は可)、健康チェックカードの提出や参観の仕方等を記載しておりますので、しっかりと御確認いただき、素晴らしい運動会となりますよう御協力をお願いいたします。

サッカーゴールを撤去していただきました

校庭に設置してあった大きなサッカーゴールをPTA会長の岩下さん、おやじの会の方々の御協力により夏休みに撤去していただきました。サッカーゴールについては、保護者の中から撤去の要望があり、少年団等の関係団体にも確認して行いました。作業は校庭で工具を使い、サッカーゴールを解体して、トラックに積み込み、運び出させていただきました。想像以上に鉄の腐食が進んでいたことに驚きました。おかげで広くて安全な校庭になりました。ありがとうございました。



学力向上について（全国学力・学習定着度調査結果から）

6年生が4月に実施した全国学力・学習定着度調査の結果から、学力向上について検討・分析しましたのでお知らせします。

【各教科全体の平均正答率(%)】

教科	本校	県	全国
国語	64	66	65.6
算数	60	63	63.2
理科	64	67	63.3

各教科とも、県、全国の平均と比較すると、理科の全国平均を除き下回る結果でした。

【学力について】

<国語>

物語文を読んで登場人物の行動や気持ちなどを叙述や描写をもとに捉えたり物語の全体を想像したりして答える問題や、漢字を正しく記述する問題を苦手としていました。

<算数>

問題文を解く式が、なぜその式で求めることができるのか説明する問題を苦手にしていました。また、割合を分数で表したり、割合の量を求めたり、求め方を言葉で説明するといった問題も苦手にしていました。

<理科>

観察記録を友達の例を参考に書き直したり、友達の意見を解釈して科学事象について自分の考えを書いたりする問題を苦手にしていました。

国語、算数、理科に共通していえることは、問題を読み、答えを言葉で説明する問題を苦手にしていました。

【学習について】

児童が質問に答えるアンケートの結果、次のことが見えてきました。

<全国・県と比べて良好>（主なもの）

- 将来の夢や目標を持っている。
- 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。
- 学校に行くのは楽しいと思う。
- 友達と協力することは楽しい。

<全国・県と比べて低調>（主なもの）

- 自分には良いところがあると思う。
- 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。
- 課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。
- 自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを作り出す活動を行っている。

また、家庭学習の時間や読書、新聞を読む児童の割合が、全国・県と比べて低いこともわかってきました。（右の欄に続く）

これらの結果を受け、夏休みの職員研修では、学力向上について話し合いました。正答率が低かった問題を職員が解き、どのような力が必要か、そのためにどのように指導すればよいか学年ごとに話し合いました。全体を通しては以下のとおりです。

○ 文章を正しく読み取る力や、考えの過程を説明できるようにするために、授業において考える時間を確保し、学び合う時間を設定する。

○ 漢字力や基礎的な計算力を高めるために、「がんばる子」の時間の効果的な運用や、授業のラスト10分で習熟の時間を確保する。

また、学年ごとに、苦手な内容を重点指導事項として位置づけたり、家庭学習にもきちんと取り組ませたりすることも確認し、2学期から取り組んでいるところです。

家庭でも、国語の教科書や図書の本などの音読をはじめとした読書活動に取り組んでいるか見届けていただけると大変ありがたいです。また、家庭学習時間についても学年に応じた時間をかけて取り組むよう声かけをお願いします。

各学年の家庭学習の目標時間

1年→40分	2年→50分	3年→60分
4年→70分	5年→80分	6年→90分

9・10月の行事予定

【9月】

- 21日(水) 運動会全体練習
- 22日(木) クラブ活動
- 23日(金) **（祝日）秋分の日**
- 27日(火) 運動会全体練習（予行練習）
- 28日(水) 北中特別支援学級参観
- 29日(木) 運動会会場づくり（予備日：30日）

【10月】

- 2日(日) **第72回秋季大運動会**
- 3日(月) 振替休日
- 5日(水) 身体計測・視力検査(～10/13)
- 8日(土) 土曜授業
- 9日(日) **市民運動会**
- 10日(月) **（祝日）スポーツの日**
- 11日(火) 給食指導強調週間(～10/17)
北中陸上教室(小中一貫)
- 12日(水) 居住地交流(2・3校時串木野養護学校から)
- 14日(金) スクールカウンセラー来校
- 16日(日) 可愛地区コミュニティーフェスタ
- 17日(月) 移動図書館来校
- 18日(火) 宿泊学習(5年)(～10/20 二泊三日)
- 20日(木) 北中一日体験入学(6年1～4校時)
- 21日(金) 休養措置日(5年)
- 26日(水) 地震・火災避難訓練(3校時)
- 27日(木) 市小学校陸上記録会(5・6年選手、午前開催)
- 28日(金) 秋の一日遠足(1～4年)

コロナ関係で変更の場合もあります。